



SSH File Transfer Protocol の設定

セキュアシェル (SSH) には、SSHv2 で導入された新たな標準ファイル転送プロトコルである SSH File Transfer Protocol (SFTP) のサポートが含まれています。この機能は、デバイス設定またはデバイスイメージファイルをコピーするための安全で認証された方式を提供します。

- [SSH File Transfer Protocol の前提条件](#) (1 ページ)
- [SSH File Transfer Protocol の制約事項](#) (1 ページ)
- [SSH File Transfer Protocol に関する情報](#) (2 ページ)
- [SSH File Transfer Protocol の設定方法](#) (2 ページ)
- [例 : SSH File Transfer Protocol の設定](#) (3 ページ)
- [その他の参考資料](#) (4 ページ)
- [SSH File Transfer Protocol の機能情報](#) (4 ページ)

SSH File Transfer Protocol の前提条件

- SSH を有効にする必要があります。
- `ip ssh source-interface interface-type interface-number` コマンドを設定する必要があります。

SSH File Transfer Protocol の制約事項

- SFTP サーバはサポートされていません。
- SFTP 起動はサポートされていません。
- `sftp` コマンドでの `install add` オプションはサポートされていません。

SSH File Transfer Protocol に関する情報

SFTP クライアント機能は SSH コンポーネントの一部として提供され、対応するデバイスで常に有効になっています。したがって、適切な権限を持つ SFTP サーバのユーザは、デバイスとの間でファイルをコピーできます。

SFTP クライアントは VRF 対応です。接続の試行時に特定の送信元インターフェイスに関連付けられた仮想ルーティングおよび転送（VRF）を使用するようにセキュア FTP クライアントを設定できます。

SSH File Transfer Protocol の設定方法

ここでは、SFTP の設定を構成するさまざまな作業について説明します。

SFTP の設定

次の操作を行ってください。

始める前に

SFTP クライアント側機能用にシスコ デバイスを設定するには、最初に **ip ssh source-interface interface-type interface-number** コマンドを設定する必要があります。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ip ssh source-interface interface-type interface-number**
4. **exit**
5. **show running-config**
6. **debug ip sftp**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Device> enable	特権 EXEC モードを有効にします。プロンプトが表示されたらパスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Device# configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	ip ssh source-interface interface-type interface-number 例 : <pre>Device(config)# ip ssh source-interface GigabitEthernet 1/0/1</pre>	SSH セッションの送信元 IP を定義します。
ステップ 4	exit 例 : <pre>Device(config)# exit</pre>	グローバル コンフィギュレーション モードを終了し、特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 5	show running-config 例 : <pre>Device# show running-config</pre>	(任意) SFTP クライアント側機能を表示します。
ステップ 6	debug ip sftp 例 : <pre>Device# debug ip sftp</pre>	(任意) SFTP デバッグを有効にします。

SFTP コピー操作の実行

ドメインネームシステム (DNS) が設定されている場合、SFTP コピーは対応するサーバの IP またはホスト名を取得します。SFTP コピー操作を実行するには、特権 EXEC モードで次のコマンドを使用します。

コマンド	目的
<pre>Device# copy ios-file-system:file sftp://user:pwd@server-ip//filepath</pre> または <pre>Device# copy ios-file-system: sftp:</pre>	ローカル Cisco IOS ファイルシステムからサーバにファイルをコピーします。 サーバのユーザ名、パスワード、IP アドレス、およびファイルパスを指定します。
<pre>Device# copy sftp://user:pwd@server-ip //filepath ios-file-system:file</pre> または <pre>Device# copy sftp: ios-file-system:</pre>	サーバからローカル Cisco IOS ファイルシステムにファイルをコピーします。 サーバのユーザ名、パスワード、IP アドレス、およびファイルパスを指定します。

例 : SSH File Transfer Protocol の設定

次に、SFTP のクライアント側機能を設定する例を示します。

```
Device> enable
Device# configure terminal
Device(config)# ip ssh source-interface gigabitethernet 1/0/1
Device(config)# exit
```

その他の参考資料

関連資料

関連項目	マニュアルタイトル
セキュアシェルバージョン1と2のサポート	セキュア シェルの設定

シスコのテクニカルサポート

説明	リンク
右のURLにアクセスして、シスコのテクニカルサポートを最大限に活用してください。これらのリソースは、ソフトウェアをインストールして設定したり、シスコの製品やテクノロジーに関する技術的問題を解決したりするために使用してください。このWebサイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.comのログインIDおよびパスワードが必要です。	http://www.cisco.com/cisco/web/support/index.html

SSH File Transfer Protocol の機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1: SFTP の機能情報

機能名	リリース	機能情報
SSH File Transfer Protocol (SFTP)	Cisco IOS リリース 15.2(7)E	SSHには、SSHv2 で導入された新たな標準ファイル転送プロトコルである SFTP のサポートが含まれています。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。